大阪教育　昭和29年2月16日第三種郵便物認可　毎月10日発行　1部30円

大教組臨時大会

職場活動強め 組織拡大の飛躍を

共同広げ、府政転換へ

大教組は2月26日、府教育会館で第181回臨時大会を開催。春闘を中心とするとりくみやいっせい地方選挙・府政転換をめざす当面の闘争方針案を可決するとともに、2011年度の新役員を選出。大会討論では、13人が発言し、職場活動や組合員拡大などでの豊かな経験と教訓が語られました。

要求実現と組織拡大、地方政治・府政転換の展望を語る田中委員長

あいさつにたった田中委員長は、激動する情勢にふれ、とりわけこの間の菅民主党政権の混迷と完全に「自民党化」した悪政推進を厳しく批判。菅内閣の国民いじめの施策に反対する要求運動の大きな広がりに確信を持ち、生活・くらし、教育を守り前進させるとりくみ、職場・学校づくりと組織拡大の大飛躍とあわせ、教育施策の転換へ地方政治と府政転換の課題等に全力でとりくむことを呼びかけました。

大会議案の提案を行った小林書記長は、春闘での要求運動、青年活動・職場活動強化の重要性を強調、教育の条理にもとづく民主教育の推進と組織拡大運動の飛躍とともに、教育施策転換のためにも地方政治と府政の転換へ府民共同の前進などを提起しました。

大会討論より

発言要旨

北澤雄一さん（豊能・能勢教組）

父母・地域住民と共同 学校統廃合ゆるさない

能勢町では、中学校2校、小学校6校を廃校にし、府民牧場をつぶした跡地に、小1校・中1校新設するというとんでもない提案に、保護者・住民の怒りの声が沸騰。教組もこの間5回、全戸へ宣伝。住民が「学校再編を見直す会」を組織し、「住民投票制定のための署名」を開始しています。この攻撃の背景には橋下府政の教育こわしがあり、これを許さないたたかいに全力で奮闘します。

松本洋介さん（青年部）

最高の成功をおさめた青年フェスタ

2月に行われた青年フェスタは650人の参加者で大成功。「出会い、ふれあい、語り合い」のテーマそのものが、いまの青年教職員のニーズとなっています。対府教委交渉でも、青年教職員の要求や初任研修の改善などをとりあげて、現場の声を届けました。近畿ブロックでの青年交流会でも、青年部活動の強化で大いに交流でき、今後の活動の力となりました。

村井毅史さん（大私教）

私学つぶしを許さない 公私の共同を

橋下知事は、私学の授業料無償化の拡大をする一方で、その財源確保のため私立小中学校の経常費補助の大幅な削減を行い、規模の小さな私学は廃校にされる状況です。私学の経常費助成を削減するのは断じて許されません。箕面市議会では、小規模校も含めた私学経常費助成制度の充実を求める意見書を採択。保護者・関係者との共同を広げ、教育こわしにたたかっていきます。

蓑田淳子さん（臨教部）

臨時教職員の要求あつめ 市教委交渉実施

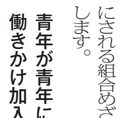
大阪で行われた近畿・中部臨時教職員交流つどいには、180人の参加者で大成功。「同じ悩みや、自分の思いをしゃべり話せてほっとした」などの感想が多数寄せられました。このつどいを力に、堺市教組臨教部として、初めて対市交渉を実施。要求書づくりには12名のメンバーがあつまり臨教部活動の大きな一歩となりました。今後は、若い臨教の人との交流にも頑張ります。

共感の拍手と笑顔が何度も会場を包んだ

仲村佐江子さん（寝屋川市教組）

年度初めに必ず職場要求を 年度初めの職場交渉と楽しい職場活動

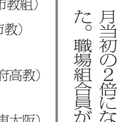
年度初めに必ず職場要求を集約し、組合員全員参加の職場交渉を実施。教育活動では、校内研の講師希望での職場合意、研修も官製・民間を問わず同等に扱われます。分会教研・職場交流も盛んです。父母・地域との共同にも力を入れ、教育署名もPTAに申し入れ、毎年目標を超えて集約。今後も全教職員から頼りにされる組合めざし奮闘します。



今上あゆみさん（大阪市教）

青年が青年に働きかけ加入

支部青年部のとりくみが広がるなか、市教青年部全体の企画として貸し切りバスツアーを企画し、34名の参加で盛り上がりました。青年フェスタでも、本部常任と支部が一体となってとりくみ、参加者は106名。組織拡大でも、この間青年が青年に働きかけ加入につながっています。4月からの新歓フェスタの計画も進み青年部活動が一歩飛躍しました。



原田里美さん（泉北教組）

職場組合員が2倍に

次々と組合員拡大が進み、今年1年でなんと4月当初の2倍になりました。職場組合員が、いつでもどこでも加入の訴えを気楽に行い、今年度の新任さん3名も全員加入。新しく加入されたみなさんにも、積極的に学習会や中央委員会、対市交渉などに参加してもらい若い力を発揮してもらっています。このことがベテラン組合員を励まし職場全体が活気づき元気になっています。

北　俊明さん（堺市教組）

青年活動・組織拡大で大きな前進

「青年組合員大集合！職場活動・青年交流会」を2月に開催。組織拡大では、3桁の加入が進み、74ヶ月連続加入が続いています。教訓は、あらゆる場面で組織拡大・強化を最優先課題としてきたこと、気楽に大胆に声かけする、職場・分会活動の重視、生活権利、教育条件整備などで組合の存在意義を示してきたことなどです。引き続き年度末、次年度の新歓へとつなげ組織拡大で奮闘します。

米山幸治さん（府高教）

要求実現へ政治を変えよう

橋下知事はこの間、非常勤補助員など350人の首切り、高校事務職員の削減、私学助成制度の改悪、小学校警備員配置交付金廃止、千里救急医療センター補助金廃止など、教育・暮らし関連施策を大幅に削減。大阪都構想は、大企業優先の大型開発推進がねらいです。このねらいを許さず、府民要求前進のためにも、積極的な参政権の行使で地方政治を変え、府政転換へつなげましょう。

退任されたみなさん ご苦労さまでした

辻　保夫さん（中央執行副委員長／所属・枚方教組）
小豆島悦子さん（中央執行副委員長／所属・大阪市教）
佐々木温子さん（中央執行委員／所属・豊中教組）
吉本　敦さん（中央執行委員／所属・南河内地区教組）
飛田知江美さん（中央執行委員／所属・大教組東大阪）
三宅　良夫さん（中央執行委員／所属・岸和田市教組）
下岡　正忠さん（会計監査／所属・堺市教組）
宮城　登さん（会計監査／所属・大阪市教）
藪田ゆきえさん（特別中央執行委員／所属・府高教）
山口　隆さん（特別中央執行委員／所属・大教組東大阪）
松浦由美子さん（大教組本部書記）

大教組2011年度役員体制

役職	氏名	所属
中央執行委員長	田中　康寛	高槻教組・離籍専従
	石井　佳宏	寝屋川市教組・太田小
	末光　章浩	府高教・西野田工科高
中央執行副委員長	家串省三郎	岸和田市教組・中央小
書記長	小林　優	大阪市教・小松小
	井上佳子	府高教・大和川高
書記次長	藤川　真人	南河内地区教組・千代田中
	服部　安幸	枚方教組・桜丘北小
	浅田　豊	全教八尾・曙川小
中央執行委員	太田　弘司	府高教・城東工科高
	池田ひろみ	松原市教組・松原北小
	北川美千代	府障教・茨木支援
	杉本　琢哉	府障教・東大阪支援
	橋岡　正樹	市障教・光陽特別支援
	岡本　博子	寝屋川市教組・桜小
	松本　洋介	高槻教組・清水小
	土橋　浩輔	全教改田教組・千里第一小
	長谷川和久	全教改田教組・片山中
	笹広　隆史	堺市教組・原山台中
	中路龍太郎	大阪市教・泉尾東小
会計監査	福田　徹	府障教・堺支援
	加門　壽文	府高教・離籍専従
特別中央執行委員	長尾　ゆり	府高教・布施工科高
	中村　尚史	南河内地区教組・離籍専従
	鈴木まさよ	堺市教組・三国丘中

出会い ふれあい 語り合い 第22回青年フェスタ

大活躍の実行委員長西岡健司さんと副実行委員長和田優子さん

第22回青年フェスタが2月19日・20日に箕面観光ホテルで開催され、650人が参加。集会は、「ひとりじゃないよ」の演奏・合唱でスタート。全体会、実践交流会、夕食交流会、実技講座とたくさんの青年がつどい大盛況でした。

全体会講師 雨宮処凛さん

全体会は講師の雨宮処凛さんと3名の青年教職員とのトーク対談で行われ、生きづらい若者の実態とつながり・連帯することの大切さが強調されました。

夕食交流会は、378人のパーティーで、宿泊者も280人にのぼり、夜遅くまで語り合い、交流がなされました。二日目の実技講座も多彩な企画で大好評。次回のフェスタが楽しみとの声が多く寄せられました。

大盛況の夕食交流会

2011年度府教育予算

競争と選別すすめ、管理統制つよめる教育予算

府民要求実現へ 府庁包囲行動を実施（9月21日）

2011年度大阪府予算案が発表され、2月府議会で審議がはじまっています。橋下府政4年目の教育予算案の特徴と問題点について、小林優・大教組書記長にききました。

府教育予算、さらに5億6千万円削減

第1は、府予算案に占める教育予算の割合が、過去最低レベルの17・7％にまで下がり、前年度比5億6千万円削減（前年比99・9％）となっています。「地域主権改革」「大阪都構想」「関西州」を想定した権限移譲推進特別交付金（10億1970万円）や関西広域連合負担金（7420万円、不要・不急な御堂筋イルミネーション（3億8334万円）などが計上され、公教育縮小の予算案です。

教育の公平性踏みにじる

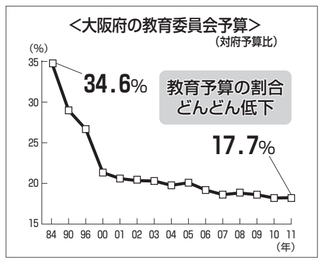
第2は、一部の学校を特別扱いし、「競争主義と学校選別」をすすめる予算案です。「使える英語プロジェクト事業」として、府内50中学校区（政令市を除く）を実践研究校に指定し、府教委が作成したプログラムにもとづき、外国人講師等を活用した授業や英語能力判定テストの実施など8098万円、府校24校を「イングリュ・フロンティア・ハイスクールズ」に指定し、3つのレベルにランク分けし、外国人講師の新たな配置や授業充実など2億3162万円、府立高校10校を「進学指導特色校」とし、学力診断共通テストや10校合同発表会などに1億5266万円、選別と切りすての教育をすすめる習熟度別指導（小学校3年以上・中学校全学年）に16億4752万円など、競争をあおり、選別をさらにすすめる予算案です。

「学力調査」体制をさらに強化

第3は、「学力調査」体制づくりを強化し、教育介入をつよめる予算案です。「全国一斉学力調査」の全国順位を上げるため、中学校295校を対象に、「学力向上プラン」を実践させる「学力向上プロジェクト支援事業」（10億1703万円）の継続、「全国一斉学力調査」の全国平均を2年連続5ポイント以上下まわった学校150校（政令市除く）を「支援校」と決めつけ、市町村教委が策定した「支援計画」にもとづき「学力対策」を強いる「学力向上重点校支援プロジェクト事業」（3286万円）、市町村間・学校間競争をあおる「大阪府一斉学力調査」（1億1952万円）など、学校教育に介入して、「学力調査」体制づくりを強める予算案です。

教育への管理・統制を強化

第4は、学校教育への介入と管理統制をつよめる予算案です。府教委は、「指導に課題のある教員の支援」「経験の少ない教員への支援」などと称して、カリキュラム・ナビ・ブランチ4か所を拠点に、政令市を除くすべての小中学校と府立学校を訪問する「授業改革推進事業」（7032万円）の継続、府立学校の校長が作成した「学校経営計画」具体化のために2億3350万円などの「『大阪の教育力』向上プラン」の数値目標のおしつけや、学校と教職員への管理統制を強め、学校教育への介入をつよめる予算案です。



第35回 大教組 機関紙コンクール

大教組第35回機関紙コンクールには33点の応募がありました。審査の結果は次の通りです。

機関紙大賞
「職場新聞すわ」　府高教・成城高分会

第1種分会・職場新聞
優秀賞「分会ニュース」　府高教・箕面東高分会

第2種単組・支部
優秀賞「泉北教育」　泉北教組
「枚方教育」　枚方教組

第3種専門部
優秀賞「若鳥夢（わこうどりーむ）」　大阪市教東南支部青年部

第5種学級・学年・教科通信
優秀賞「一期一会」　高槻市立第9中　山本武志さん

※尚、第4種の地域・父母の部は今回該当なしでした。

今こそ府民的共同を

橋下知事の「教育こわし」に対する反発や怒りが、教職員や管理職、PTAにも広がり、共同の可能性が大きく生まれています。今こそ、橋下「教育こわし」を許さない府民的共同を大きく広げましょう。